

航空法第111条の4に基づく報告一覧(令和4年4月～令和4年9月)

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
4/1	琉球エア・コミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	那覇空港	那覇空港	飛行中、確認が不足したことからフラップ展開時の運用限界高度を超過した。	
4/1	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA601F	北京	成田国際空港	機長に誤った危険物通知書類を渡したため、危険物を誤輸送した。	
4/2	日本航空	ボーイング式787-8型	JA840J	サンディエゴ	成田国際空港	飛行中、乗客のたばこにより化粧室の煙探知機が作動した。	
4/2	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA10FJ	名古屋飛行場	山形空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
4/3	日本エア・コミューター	ATR式42-500型	JA03JC	鹿児島空港	鹿児島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/3	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	サンフランシスコ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/3	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA08JJ	新千歳空港	成田国際空港	運航整備中、右主翼上面のフェアリングに取り付いているシールの一部およびライトレンズが脱落していることを発見した。	
4/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NC	神戸空港	東京国際空港	降下中、確認が不足したことからフラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
4/4	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	—	—	定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
4/4	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA05FJ	名古屋飛行場	高知空港	不正確な大人、小児により算出された重量重心位置データを使用して運航した。	
4/5	日本航空	エアバス式A350-941型	JA08XJ	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/5	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	東京国際空港	松山空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
4/5	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA203P	関西国際空港	成田国際空港	貨物の運送物を記載する書類への記載漏れがあったため、無申告で危険物を輸送した。	
4/6	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA08RK	中部国際空港	那覇空港	離陸滑走中、扉が開いたことを示すライトが点灯した。	
4/6	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA793A	ロサンゼルス	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/6	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA13FJ	名古屋飛行場	高知空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
4/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	ロンドン	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/7	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA784A	サンフランシスコ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA89AN	東京国際空港	大館能代空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	中部国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/7	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A	—	—	整備時に、機体の状況をモニターする装置のソフトウェアの部品番号が誤ってインストールされていたことが判明した。	
4/8	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA605A	新千歳空港	東京国際空港	運航整備中、左エンジン逆推力装置の内壁の一部の部材が脱落していることを発見した。	
4/9	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA821A	大阪国際空港	東京国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
4/10	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NF	新千歳空港	百里飛行場	対地接近警報装置の作動により回避操作を実施した。	
4/12	日本エア・コミューター	ATR式42-500型	JA04JC	—	—	定時整備中、胴体の構造部に腐食が発見された。	
4/12	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA751A	—	—	定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
4/12	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA808X	神戸空港	那覇空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/12	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA25MC	福岡空港	中部国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/13	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	サンフランシスコ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/13	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA784A	ロサンゼルス	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	アンカレッジ	成田国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/13	Peach Aviation	エアバス式A321-251NX型	JA902P	関西国際空港	那覇空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/14	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA55AN	東京国際空港	大館能代空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/14	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA10JJ	那覇空港	成田国際空港	運航整備中、電波高度計の不具合を発見した。	
4/15	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA150A	長崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/15	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA859A	松山空港	中部国際空港	上昇中、副操縦士側(右側)の操縦室窓にひび割れが発生したため、引き返した。	イレギュラー運航
4/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	—	—	定時整備中、水平尾翼の構造部に腐食を発見した。	
4/16	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA872A	—	—	右主脚の格納ドアのシールを固定する部材の損傷について、必要な点検を行わずに運航していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
4/16	Peach Aviation	エアバスA320-214型	JA05VA	関西国際空港	仙台空港	降下中、自動操縦装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/17	日本航空	ボーイング式787-8型	JA842J	東京国際空港	バンコク	飛行中、化粧室の煙探知機が誤作動した。	
4/17	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	那覇空港	久米島空港	乗り継ぎ便出発作業中に受託手荷物の中に危険物が発見されたことから、前便で無申告で危険物を輸送していたことが判明した。	
4/17	全日本空輸	エアバスA321-272N型	JA141A	東京国際空港	岡山空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/17	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA75AN	庄内空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/18	日本航空	ボーイング式767-300型	JA616J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	香港	地上走行中、エルロンに不具合が発生したことを示す計器表示があったため引き返した。	
4/18	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	仙台空港	福岡空港	飛行中、複数の速度計に不具合が発生した。	重大インシデント
4/19	日本航空	ボーイング式737-800型	JA335J	東京国際空港	高知空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/19	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	中部国際空港	仙台空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
4/19	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA20JJ	成田国際空港	那覇空港	運航整備中、電波高度計の不具合が発見された。	
4/20	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA81RC	—	—	定時整備中、左主翼下面の構造部に腐食が発見された。	
4/21	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA866A	ホノルル	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
4/21	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA612A	東京国際空港	函館空港	降下中、エルロンの操作を行ったところ通常と異なる感覚であったことが確認された。	
4/21	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	ダラス	シカゴ	ギャレーのドアラッチの不具合に対して、必要な運用許容基準を適用せずに運航した。	
4/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Q	神戸空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
4/22	日本航空	エアバスA350-941型	JA04XJ	福岡空港	東京国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/22	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA10JC	出雲空港	福岡空港	不正確に算出された重量重心位置データを使用して運航した。	
4/22	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA251J	大阪国際空港	福岡空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	—	—	社内調査の結果、発動機交換時に行う点検が期限を超過していたことが判明した。	
4/22	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NM	—	—	社内調査の結果、発動機交換時に行う点検が期限を超過していたことが判明した。	
4/23	Peach Aviation	エアバスA320-251N型	JA206P	那覇空港	福岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
4/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	福岡空港	百里飛行場	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/24	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA796A	ロサンゼルス	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/24	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA827A	メキシコ	成田国際空港	承認できない双発機による長距離進出運航による飛行計画により運航を開始した。	
4/25	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA743J	バンコク	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
4/25	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA87AN	松山空港	那覇空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA876A	成田国際空港	ヒューストン	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/26	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA872A	成田国際空港	ブリュッセル	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/26	ジェットスター・ジャパン	エアバスA320-232型	JA03JJ	那覇空港	成田国際空港	脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった。	イレギュラー運航
4/27	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA241J	大阪国際空港	仙台空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
4/27	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA791A	シカゴ	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
4/28	スカイマーク	—	—	—	—	飛行勤務開始時のアルコール検査を行ったところ、客室乗務員からアルコールが検知された。	
4/28	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA26MC	北九州空港	東京国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
4/30	日本航空	ボーイング式787-300型	JA618J	青森空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/1	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA54AN	東京国際空港	大館能代空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/1	新中央航空	ルアグ式Dornier228-212型	JA35CA	三宅島空港	調布飛行場	離陸して、脚上げ操作後、脚が通常と異なる位置にあることを示すライトが点灯した。	
5/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	東京国際空港	北九州空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を受けなかった。	
5/2	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	那覇空港	大阪国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
5/3	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/3	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA823A	マニラ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/3	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA220A	新千歳空港	関西国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/3	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	J03JJ	那覇空港	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/4	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA147A	東京国際空港	鹿児島空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/4	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8358	成田国際空港	バンコク	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
5/5	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA222J	福岡空港	徳島飛行場	不正確に算出された重量重心位置データを使用して運航した。	
5/5	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA04VA	—	—	定時整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
5/5	岡山航空	テキストロン・アビエーション式525型	JA10MZ	岡山空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/6	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	広島空港	着陸直前、風の変化を受けて対地接近警報装置が作動した。	
5/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	バンコク	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/7	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA85AN	函館空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
5/7	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA07VA	大分空港	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/7	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA14RJ	仙台空港	福岡空港	上昇中、化粧室の煙探知機が誤作動した。	
5/8	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA89AN	東京国際空港	紋別空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
5/8	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	新石垣空港	那覇空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/9	日本航空	ボーイング式767-300型	JA623J	東京国際空港	旭川空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/10	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	ボストン	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/10	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA150A	福岡空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/10	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA822P	中部国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/10	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA202P	福岡空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/10	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	福岡空港	対馬空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/12	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	クアラルンプール	成田国際空港	機長に危険物搭載通知が手交されないまま運航した。	
5/12	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	シカゴ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA653J	—	—	定時整備中、客室内の酸素マスクの一部が展開しないことが判明した。	
5/12	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	シアトル	成田国際空港	機長に危険物搭載通知が手交されないまま運航した。	
5/13	日本航空	ボーイング式787-9型	JA881J	成田国際空港	ボストン	飛行中、擾乱により運用限界速度を超過した。	
5/13	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA887A	シドニー	東京国際空港	到着後、作業用無線機が貨物室で発見された。	
5/14	日本航空	ボーイング式737-800型	JA301J	東京国際空港	大分空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/14	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA613A	—	—	定時整備中、委託先での取り付け間違いが確認された。	
5/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA08FJ	名古屋飛行場	熊本空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/14	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	—	—	定時整備中、客室内の酸素マスクの不具合を発見した。	
5/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	中部国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/15	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA02RK	—	—	定時整備中、発動機のアクチュエーターの誤った取り付けを発見した。	
5/15	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA874A	福岡空港	新千歳空港	到着後、地上作業員の携帯電話が貨物室で発見された。	
5/16	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA69AN	小松飛行場	東京国際空港	降下中、確認が不足したことからフラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
5/16	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	仙台空港	福岡空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
5/16	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA825J	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、高揚力装置(スラット)に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
5/17	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA819P	—	—	定時整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
5/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	バンコク	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
5/24	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	ホノルル	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
5/24	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA13VA	中部国際空港	那覇空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
5/25	日本航空	ボーイング式737-800型	JA330J	東京国際空港	高松空港	地上走行中、機内放送装置(PA)に不具合が発生した。	
5/25	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA610A	東京国際空港	福岡空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
5/25	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA12FJ	松本空港	神戸空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/25	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	—	—	—	航空機乗組員が業務に従事する時間等の制限を超えた状態で乗務した。	
5/26	日本航空	ボーイング式787-9型	JA869J	クアラルンプール	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
5/26	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA793A	サンフランシスコ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
5/27	日本航空	—	—	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
5/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA09FJ	福岡空港	静岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
5/28	日本航空	エアバス式A350-941型	JA15XJ	東京国際空港	那覇空港	到着後の点検にて、鳥衝突によるエンジンの損傷を発見した。	
5/28	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA12AN	釧路空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	新千歳空港	仙台空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
5/30	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA811A	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/30	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA87AN	福岡空港	中部国際空港	地上担当者の確認不足により、危険物が誤輸送されたことが判明した。	
5/30	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA16FJ	松本空港	福岡空港	着陸時、第2エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過した。	
5/31	日本航空	ボーイング式737-800型	JA307J	宮崎空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
5/31	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA625A	東京国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
5/31	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA850A	福岡空港	大阪国際空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
5/31	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA07FJ	隠岐空港	名古屋飛行場	降下中、管制指示高度を逸脱した。	
6/1	日本航空	ボーイング式777-200型	JA709J	東京国際空港	新千歳空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
6/1	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F	成田国際空港	シンガポール	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
6/1	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA892A	成田国際空港	バンコク	客室内の湿度調整機能の不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航した。	
6/1	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA824J	成田国際空港	バンコク	飛行中、化粧室の煙探知機が誤作動した。	
6/2	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA852A	大阪国際空港	青森空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/2	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	長崎空港	神戸空港	第2エンジンの逆推力装置が作動完了後、「ENG FAIL」の計器表示がされた。	
6/3	日本航空	ボーイング式787-8型	JA832J	メルボルン	成田国際空港	到着後、作業用の電子機器が貨物室で発見された。	
6/3	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	神戸空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/4	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA146A	東京国際空港	佐賀空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/4	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA602F	成田国際空港	バンコク	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
6/4	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA13RJ	—	—	定時整備中、胴体の構造部に摩耗が発見された。	
6/5	日本航空	ボーイング式737-800型	JA328J	大阪国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/5	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	東京国際空港	鹿児島空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/6	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA08RK	那覇空港	福岡空港	上昇中、点検孔の不具合を示す計器表示があった。	
6/6	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA243J	東京国際空港	宮崎空港	離陸後、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった。	イレギュラー運航
6/6	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA150A	松山空港	東京国際空港	着陸時、ギャレーからコンテナが飛び出した。	
6/7	日本航空	ボーイング式787-9型	JA878J	成田国際空港	ハノイ	飛行中、乗客のたばこにより化粧室の煙探知機が作動した。	
6/7	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA611A	—	—	定時整備中、胴体の構造部に亀裂が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
6/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA858A	—	—	装備品整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
6/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	—	—	定時整備中、第2エンジンセルに腐食が発見された。	
6/7	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	—	—	定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
6/7	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA822P	新千歳空港	仙台空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を運航規程付属書に基づく方法で行わなかった。	
6/8	日本航空	ボーイング式787-8型	JA845J	バンクーバー	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/8	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA815A	東京国際空港	広島空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
6/8	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	仙台空港	新千歳空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/8	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA08FJ	福岡空港	松本空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/9	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A	東京国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/9	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA835A	東京国際空港	大阪国際空港	運航乗務員が乗務後のアルコール検査を実施していないことが判明した。	
6/10	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	百里飛行場	運航整備中、胴体抽気系統の漏えい検知機の不具合を発見した。	
6/11	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NQ	東京国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/12	日本航空	エアバス式A350-941型	JA14XJ	東京国際空港	那覇空港	上昇中、管制指示高度を逸脱した。	
6/12	日本航空	ボーイング式767-300型	JA656J	—	—	社内調査の結果、カウリングのへこみに対して誤った構造修理を実施していたことが判明した。	
6/12	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA243J	大阪国際空港	青森空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
6/12	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	シカゴ	成田国際空港	機長に危険物搭載通知が手交されないまま運航した。	
6/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NG	東京国際空港	下地島空港	上昇中、航空機衝突防止装置の不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NK	神戸空港	新千歳空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/13	日本航空	エアバス式A350-941型	JA08XJ	東京国際空港	新千歳空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/14	日本航空	ボーイング式787-8型	JA841J	シアトル	成田国際空港	貨物パレットを違う位置に搭載した結果、誤った重量・重心位置データで運航したことが判明した。	
6/14	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA823P	鹿児島空港	関西国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/14	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA08FJ	—	—	社内調査の結果、発動機の一部のパーツの交換期限を超過して運航していたことが判明した。	
6/15	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	ホーチミン	成田国際空港	到着後、作業用端末が貨物室で発見された。	
6/15	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA796A	ニューヨーク	東京国際空港	到着後、危険物が漏洩していることを発見した。	
6/15	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA818A	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/15	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	北九州空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/16	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA735J	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/16	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA738J	シカゴ	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
6/17	日本航空	エアバス式A350-941型	JA07XJ	東京国際空港	福岡空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
6/17	学校法人ヒラタ学園	エアバス・ヘリコプターズ式BK117D-2型	JA903H	長崎医療センター	その他※詳細欄	メインローターブレードの損傷に対し必要な点検を行わずに運航していたことが判明した。	
6/18	Peach Aviation	エアバス式A321-251NX型	JA902P	関西国際空港	鹿児島空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	福岡空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/20	日本航空	ボーイング式787-300型	JA617J	シンガポール	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/20	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA833A	東京国際空港	新千歳空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/20	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA04JJ	関西国際空港	那覇空港	運航整備中、航空機衝突防止装置の不具合が発見された。	
6/20	岡山航空	テキストロン・アビエーション式525型	JA10MZ	岡山空港	東京国際空港	降下中、自動操縦装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示高度を逸脱した。	
6/20	本田航空	セスナ式172S型	JA37HA	—	—	社内調査の結果、マグネのオーバーホール期限を超過して運航していたことが判明した。	
6/20	本田航空	セスナ式172S型	JA71HU	—	—	社内調査の結果、マグネのオーバーホール期限を超過して運航していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
6/21	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NJ	神戸空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	日本航空	エアバス式A350-941型	JA13XJ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA222A	大分空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA793A	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/22	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA04JJ	長崎空港	成田国際空港	運航整備中、航空機衝突防止装置の不具合が発見された。	
6/23	日本航空	エアバス式A350-941型	JA03XJ	那覇空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/23	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA811A	大阪国際空港	那覇空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
6/23	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	—	—	定時整備中、第1エンジンナセルに腐食が発見された。	
6/23	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA05JJ	成田国際空港	高知空港	着陸時、客室乗務員が負傷した。	航空事故
6/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AC	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/23	雄飛航空	ロビンソン式R44型	JA33VR	川島場外離着陸	川島場外離着陸	着陸の際、強めの設置となり、クロスチューブを損傷させた。	イレギュラー運航
6/24	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
6/24	日本航空	ボーイング式737-800型	JA345J	大阪国際空港	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/24	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA73AN	松山空港	那覇空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
6/24	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	香港	成田国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
6/24	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA04JJ	成田国際空港	福岡空港	降下中、航空機衝突防止装置の不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/25	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA854A	熊本空港	大阪国際空港	飛行中、機体が動揺した際、客室乗務員が負傷した。	航空事故
6/25	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	新千歳空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
6/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA614J	鹿児島空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
6/26	日本航空	ボーイング式777-200型	JA709J	東京国際空港	新千歳空港	上昇中、操縦室内に異臭があったため酸素マスクを使用した。	イレギュラー運航
6/26	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8358	成田国際空港	バンコク	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
6/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NE	東京国際空港	福岡空港	着陸後の地上走行中、ブレーキの一部が解除されなくなった。	
6/27	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	ロサンゼルス	成田国際空港	飛行中、与圧系統に不具合発生した。	
6/27	日本航空	ボーイング式787-9型	JA870J	バンコク	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
6/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	東京国際空港	新千歳空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/27	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA608A	新千歳空港	東京国際空港	降下中、確認が不足したことから運用限界速度を超過した。	
6/27	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA825P	仙台空港	関西国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/27	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA03FJ	松本空港	札幌飛行場	地上担当者の確認不足により、誤った重量・重心位置のデータに基づいて運航した。	
6/28	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA02JC	喜界空港	奄美空港	進入中、脚が通常と異なる位置にあることを示す計器表示があった。	
6/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	—	—	定時整備中、胴体の構造部に亀裂が発見された。	
6/29	日本航空	エアバス式A350-941型	JA13XJ	東京国際空港	新千歳空港	当初予定していた進入方式が使用できないことを示す計器表示があったため、非常事態宣言をした。	イレギュラー運航
6/29	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA151A	鹿児島空港	東京国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
6/29	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA844A	—	—	装備品整備中、航空機用救命無線機の不具合が発見された。	
6/29	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	中部国際空港	福岡空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
6/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	—	—	定時整備中、高揚力装置(スラット)が非常用作動しなかった。	
6/30	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	シカゴ	成田国際空港	地上担当者の確認不足により、誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	
6/30	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA892A	成田国際空港	ブリュッセル	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/1	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA853A	仙台空港	中部国際空港	飛行中、与圧系統に不具合が発生したことを示すライトが点灯した。	
7/1	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA16KZ	—	—	定時整備中、胴体の構造部に亀裂が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
7/2	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	成田国際空港	ボストン	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	—	—	定時整備中、左パイロンの構造部に亀裂が発見された。	
7/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA717A	—	—	特別整備にて、エンジンカウルの一部の部品が正しく装着されていないことが判明した。	
7/2	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA742A	—	—	特別点検整備にて、エンジンカウルの一部の部品が正しく装着されていないことが判明した。	
7/4	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA922A	マニラ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/5	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	—	—	定時整備中、第1エンジンの外側皮に腐食が発見された。	
7/6	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA07JC	奄美空港	喜界空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
7/6	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA84RC	与論空港	那覇空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/6	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA18KZ	ニューヨーク	アンカレッジ	地上担当者の確認不足により、誤った情報で危険物を輸送したことが判明した。	
7/6	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA15VA	関西国際空港	鹿児島空港	客室乗務員が乗務後のアルコール検査を適切な時期に実施しなかったことが判明した。	
7/6	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73AB	東京国際空港	神戸空港	社内調査の結果、構造修理の処置並びに持ち越し処理に不備があったことが判明した。	
7/7	日本航空	ボーイング式787-8型	JA846J	大阪国際空港	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/7	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA732J	シカゴ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/8	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA831A	東京国際空港	大阪国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/8	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA14AN	帯広空港	東京国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/8	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA07VA	関西国際空港	新千歳空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
7/9	日本航空	ボーイング式767-300型	JA601J	小松飛行場	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/9	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA892A	ワシントン	成田国際空港	上昇中、フラップに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
7/9	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA201P	関西国際空港	仙台空港	管制機関に対する飛行計画の変更が適切に行われていない状態で運航した。	
7/10	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA847A	秋田空港	新千歳空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/11	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA818A	東京国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/11	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA615A	大阪国際空港	東京国際空港	降下中、確認不足により管制指示高度を逸脱した。	
7/12	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA244J	宮崎空港	東京国際空港	運航乗務員が、規定された休養時間を満たさず乗務した。	
7/12	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8358	成田国際空港	バンコク	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
7/12	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	東京国際空港	鹿児島空港	機体の抽気関係の部品交換時に不適切な整備処置が行われた。	
7/13	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	東京国際空港	広州(中国)	運航基準で設定されている値を満たさない状態で離陸した。	
7/13	日本トランスオシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	宮古空港	中部国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA603A	ホーチミン	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
7/13	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	バンコク	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
7/13	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA607A	—	—	運航整備中、非常用照明の不具合が発見された。	
7/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA11KZ	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航法計器に不具合があったことを示す計器表示があった。	
7/13	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA827P	関西国際空港	新石垣空港	飛行中、客室ドアハンドルが一時的に適切な位置にないことが判明した。	
7/14	日本航空	エアバス式A350-941型	JA05XJ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/14	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	東京国際空港	ニューヨーク	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/14	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA874A	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/14	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA55AN	大分空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/15	日本航空	ボーイング式787-9型	JA875J	ハノイ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/15	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA827P	関西国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/15	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA820P	鹿児島空港	中部国際空港	運用許容基準を適用にあたり、必要な措置を行っておらず未適用のまま運航を行った。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
7/15	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	鹿児島空港	神戸空港	地上走行中、エルロントリムの操作を行ったところ通常と異なる感覚であった。	
7/15	朝日航洋	川崎式BK117C-2型	JA6924	旭川医科大学病院場外離着陸場(北海道旭川市)	広域紋別病院場外離着陸場(北海道紋別市)	飛行中、燃料移送ポンプに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	イレギュラー運航
7/16	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA790A	成田国際空港	シカゴ	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/16	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NP	下地島空港	神戸空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/16	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA807X	那覇空港	新石垣空港	飛行中、機体が動揺した際、客室乗務員1名が負傷した。	航空事故
7/16	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	壱岐空港	長崎空港	飛行中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/17	全日本空輸	ボーイング式787-300型	JA8664	バンコク	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
7/17	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA01GR	成田国際空港	広島空港	降下中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
7/17	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA21MC	中部国際空港	福岡空港	上昇中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/18	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	アンカレッジ	成田国際空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NR	神戸空港	新千歳空港	飛行中、航法計器に不具合があったことを示す計器表示があった。	
7/18	ZIPAIR Tokyo	ボーイング式787-8型	JA822J	成田国際空港	ロサンゼルス	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/18	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA24MC	東京国際空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/19	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	中部国際空港	宮古空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/19	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA921A	マニラ	東京国際空港	確認が不足したことから客室扉の窓を着陸用に切り替えずに着陸した。	
7/19	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NY	東京国際空港	新千歳空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/20	日本航空	ボーイング式767-300型	JA608J	マニラ	成田国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/20	全日本空輸	ボーイング式777F型	JA772F	シカゴ	成田国際空港	機長に誤った記載内容の危険物搭載通知が手交され、運航した。	
7/20	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA802X	—	—	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
7/20	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	壱岐空港	長崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/20	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA27MC	北九州空港	東京国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/21	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	壱岐空港	着陸後の地上走行中、客室内の照明のカバーが外れ落下した。事象	
7/21	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	対馬空港	長崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/22	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	関西国際空港	東京国際空港	着陸時、第1エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
7/22	日本航空	ボーイング式787-9型	JA870J	ロサンゼルス	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
7/22	オリエンタルエアブリッジ	ボンバルディア式DHC-8-201型	JA802B	長崎空港	福江空港	上昇中、脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった。	イレギュラー運航
7/22	スターフライヤー	エアバスA320-214型	JA24MC	東京国際空港	関西国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA611A	東京国際空港	熊本空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
7/24	日本航空	ボーイング式787-9型	JA871J	ダラス	成田国際空港	上昇中、フラップの運用限界速度を超過した。	
7/24	日本航空	ボーイング式787-8型	JA829J	ホーチミン	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
7/24	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA842A	福岡空港	小松飛行場	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/25	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA08AN	仙台空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/25	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA807X	東京国際空港	熊本空港	飛行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
7/26	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	関西国際空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/27	琉球エアークommuter	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	与論空港	那覇空港	整備要目に定める点検間隔を超過した。	
7/27	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA58AN	関西国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	—	—	定時整備中、胴体後方の構造部に腐食が発見された。	
7/27	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	—	—	定時整備中、胴体後方の構造部に亀裂が発見された。	
7/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	—	—	定例整備中に整備委託先において、正規の方法にて部品が取り付けられていない事が判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
7/28	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA56AN	宮崎空港	大阪国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/28	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA855A	小松飛行場	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	—	—	定時整備中、胴体前方の構造部に腐食が発見された。	
7/28	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	仙台空港	仙台空港	試験飛行中、与圧系統の不具合が発生した。	
7/29	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA83RC	—	—	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/29	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA824A	大阪国際空港	那覇空港	降下中、管制指示経路の確認が不足したことから、管制指示経路を逸脱した。	
7/29	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA141A	東京国際空港	熊本空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
7/29	全日本空輸	エアバス式A380-841型	JA381A	ホノルル	成田国際空港	飛行中、燃料タンクの燃料量の差が運用許容限界を超過した。	
7/29	ANAウイングス	—	—	—	—	客室乗務員が、運航規程に定める飲酒禁止期間内に飲酒を行った。	
7/29	ANAウイングス	—	—	—	—	客室乗務員が、運航規程に定める飲酒禁止期間内に飲酒を行った。	
7/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	新千歳空港	百里飛行場	地上走行中、操縦系統(エルロントリム)に不具合が発生した。	
7/29	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA13FJ	熊本空港	静岡空港	運航整備中、客室内の一部の非常用照明灯が点灯しないことを発見した。	
7/29	朝日航洋	シコルスキー式S-76C型	JA6693	—	—	定時整備中、胴体の構造部に腐食が発見された。	
7/30	日本航空	ボーイング式737-800型	JA346J	関西国際空港	新千歳空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
7/30	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA10RK	那覇空港	新石垣空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
7/30	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA09VA	成田国際空港	新千歳空港	離陸時、ギャレのコンテナが落下した。	
7/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737R	新千歳空港	東京国際空港	地上走行中、操縦系統(エルロントリム)に不具合が発生した。	
7/31	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA04RK	宮古空港	関西国際空港	運航整備中、操縦系統(スポイラー)の不具合が発見された。	
7/31	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA219J	徳之島空港	鹿児島空港	離陸時、第2エンジンの排気ガス温度が運用限界を超過した。	
7/31	新中央航空	ドルニエ式Dornier228-212型	JA33CA	調布飛行場	神津島空港	航空機乗組員の乗務時間が規定で定める上限を超えた状態で乗務した。	
8/1	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA136A	大阪国際空港	東京国際空港	確認不足により、貨物室の不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航したことが判明した。	
8/1	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA788A	ニューヨーク	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/1	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA21MC	中部国際空港	福岡空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/2	日本航空	ボーイング式777-200型	JA709J	東京国際空港	那覇空港	飛行中、第1エンジンに不具合が発生したため、緊急事態を宣言の上、引き返した。	イレギュラー運航
8/2	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA211J	大阪国際空港	福岡空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/2	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA14KZ	成田国際空港	上海(浦東)	地上担当者の確認不足により、無申告で危険物を輸送したことが判明した。	
8/2	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	熊本空港	天草飛行場	社内調査の結果、燃料系統の不具合に対して誤った運用許容基準を適用して運航したことが判明した。	
8/3	日本航空	ボーイング式787-9型	JA865J	成田国際空港	ダラス	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
8/3	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA848A	—	—	定時整備中、第1エンジンナセルに腐食が発見された。	
8/3	Peach Aviation	エアバス式A320-214型	JA09VA	新千歳空港	仙台空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/3	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	中部国際空港	那覇空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/3	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA07MC	山口宇部空港	東京国際空港	降下中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
8/4	日本航空	ボーイング式737-800型	JA311J	東京国際空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/4	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA740J	成田国際空港	ロサンゼルス	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/4	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA75AN	大阪国際空港	熊本空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/5	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA815A	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/5	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA219A	釧路空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA02JJ	成田国際空港	那覇空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/6	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	香港	成田国際空港	上昇中、主脚格納扉が確実に閉まっていないことを示す計器表示があった。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
8/7	日本航空	ボーイング式767-300型	JA617J	バンクーバー	成田国際空港	地上作業員が作業用電子機器を貨物室に置き忘れた。	
8/7	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA921A	マニラ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/8	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA602F	ハノイ	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
8/8	天草エアライン	ATR式42-500型	JA01AM	熊本空港	大阪国際空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったため引き返した。	イレギュラー運航
8/9	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	徳島飛行場	新千歳空港	飛行中、飛行管理装置へ誤った入力を行ったことから、管制指示経路を逸脱した。	
8/9	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA05RK	那覇空港	宮古空港	離陸滑走中、客室扉に不具合が発生したことを示す計器表示があったため、離陸を中止した。	
8/9	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA09RK	那覇空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/9	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8358	成田国際空港	北京	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
8/9	フジビジネスジェット	セスナ式525A型	JA359C	静岡空港	那覇空港	航空機乗組員が有効期限が切れたアルコール検査機器を使用して検査を行った。	
8/10	日本航空	ボーイング式737-800型	JA342J	—	—	不適切な整備処置を実施した。	
8/10	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA891A	—	—	定例整備にて、エンジンの一部の部品が正しく装着されていないことが判明した。	
8/10	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA933A	ロンドン	東京国際空港	客室乗務員が有効期限が切れたアルコール検査機器を使用して検査を行った。	
8/10	フジビジネスジェット	セスナ式525A型	JA359C	那覇空港	静岡空港	航空機乗組員が有効期限が切れたアルコール検査機器を使用して検査を行った。	
8/10	フジビジネスジェット	セスナ式525A型	JA359C	那覇空港	静岡空港	整備士が有効期限が切れたアルコール検査機器を使用して検査を行った。	
8/11	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA809A	那覇空港	東京国際空港	自動操縦装置に入力した値が、装置側の不具合にて入力後に変更になることで、管制指示高度を逸脱した。	
8/11	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA74AN	岩国飛行場	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/11	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA460A	大阪国際空港	青森空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
8/11	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA808X	東京国際空港	宮崎空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/11	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA09FJ	名古屋飛行場	福岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
8/12	日本航空	ボーイング式737-800型	JA310J	那覇空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
8/12	日本エアコミューター	ATR式42-500型	JA09JC	福岡空港	出雲空港	上昇中、飛行管理装置に不具合が発生した。	
8/12	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F	ホノルル	成田国際空港	飛行中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
8/12	朝日航洋	セスナ式680型	JA04AA	名古屋飛行場	名古屋飛行場	脚上げ操作を実施したが、脚が正常に上がらなかった。	
8/13	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA821A	東京国際空港	新石垣空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/13	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA205P	成田国際空港	福岡空港	進入中、確認が不足したことからフラップの運用限界速度を超過した。	
8/14	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA741J	サンフランシスコ	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/14	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	—	—	定時整備中、第1エンジンナセルに腐食が発見された。	
8/14	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA08AN	東京国際空港	女満別空港	着陸時、エンジンの逆推力装置の操作レバーが動かなかった。	
8/14	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA813X	那覇空港	東京国際空港	地上走行中、ブレーキの一部が解除されなくなった。	
8/15	日本航空	ボーイング式737-800型	JA304J	中部国際空港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/15	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA56AN	長崎空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/15	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA207P	関西国際空港	成田国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/15	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA809X	東京国際空港	那覇空港	不適切な整備処置を実施した。	
8/16	日本航空	ボーイング式787-8型	JA821J	台北(松山)	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/16	ジェイエア	エンブラエル式ERJ190-100STD型	JA249J	宮崎空港	東京国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/16	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA220A	東京国際空港	高知空港	運航整備中、サービスドアの不具合に伴う整備処置として添付していたアルミテープが脱落していることを発見した。	
8/17	全日本空輸	—	—	—	—	運航乗務員のアルコール検査記録の一部を誤って廃棄した。	
8/17	全日本空輸	—	—	—	—	運航乗務員のアルコール検査記録の一部を誤って廃棄した。	
8/17	全日本空輸	—	—	—	—	運航乗務員のアルコール検査記録の一部を誤って廃棄した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
8/17	エアージャパン	—	—	—	—	運航乗務員のアルコール検査記録の一部を誤って廃棄した。	
8/17	エアージャパン	—	—	—	—	運航乗務員のアルコール検査記録の一部を誤って廃棄した。	
8/17	エアージャパン	—	—	—	—	運航乗務員のアルコール検査記録の一部を誤って廃棄した。	
8/17	エアージャパン	—	—	—	—	運航乗務員のアルコール検査記録の一部を誤って廃棄した。	
8/17	エアージャパン	—	—	—	—	運航乗務員のアルコール検査記録の一部を誤って廃棄した。	
8/17	エアージャパン	—	—	—	—	運航乗務員のアルコール検査記録の一部を誤って廃棄した。	
8/18	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NN	鹿児島空港	中部国際空港	運航整備中、第2エンジンから燃料漏れが発見された。	
8/18	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	鹿児島空港	中部国際空港	エンジン始動時、ラムエア・バルブの不具合が発見された。	
8/19	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA228J	大阪国際空港	山形空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/19	ジェイエア	エンブラエル式ERJ170-100STD型	JA220J	新千歳空港	青森空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/19	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA802X	東京国際空港	大分空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/19	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA812X	東京国際空港	熊本空港	降下中、確認が不足したことにより運用限界速度を超過した。	
8/20	Peach Aviation	エアバス式A320-251N型	JA208P	那覇空港	福岡空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/21	日本航空	ボーイング式787-9型	JA863J	サンフランシスコ	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/22	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA743A	東京国際空港	福岡空港	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
8/22	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA877A	ヒューストン	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/22	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA07AN	函館空港	中部国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/23	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA877A	ヒューストン	成田国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/24	日本航空	ボーイング式787-8型	JA849J	大阪国際空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/24	日本航空	ボーイング式777-300ER型	JA742J	成田国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/24	日本航空	ボーイング式787-9型	JA877J	ハノイ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/24	琉球エアコミューター	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA85RC	—	—	定時整備中、左胴体脚の非常脚下げ装置の不具合を発見した。	
8/24	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA218A	庄内空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/24	全日本空輸	ボーイング式787-300型	JA622A	成田国際空港	東京国際空港	上昇中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/25	日本航空	ボーイング式787-300型	JA622J	鹿児島空港	東京国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/25	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA936A	東京国際空港	福岡空港	乗客が落としたりライターが、座席機構に挟まり火花が見えたため、客室乗務員が消火器を使用した。	
8/25	AIRDO	ボーイング式787-300型	JA613A	新千歳空港	東京国際空港	離陸後、ギャレーのゴミ箱が滑り出た。	
8/26	日本航空	エアバス式A350-941型	JA05XJ	福岡空港	東京国際空港	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
8/26	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA808X	宮崎空港	東京国際空港	地上走行中、ブレーキの一部が解除されなくなった。	イレギュラー運航
8/27	日本航空	ボーイング式787-8型	JA831J	成田国際空港	ホーチミン	飛行中、副操縦士側(右側)の操縦室窓にひび割れが発生したため引き返した。	イレギュラー運航
8/28	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA928A	東京国際空港	フランクフルト	上昇中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
8/28	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA53AN	新千歳空港	中部国際空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
8/28	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA15KZ	成田国際空港	アンカレッジ	整備担当者の誤った判断により、適切な整備処置を実施できなかった。	
8/29	全日本空輸	—	—	—	—	装備品整備中、航空機救命無線機の不具合が発見された。	
8/29	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NX	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/30	日本航空	ボーイング式787-300型	JA602J	東京国際空港	長崎空港	上昇中、急な管制指示により、指示高度を超過した。	
8/30	日本航空	エアバス式A350-941型	JA14XJ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/30	日本航空	エアバス式A350-941型	JA10XJ	那覇空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
8/30	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	東京国際空港	台北(桃園)	定時整備中、客室内の酸素マスクの一部の不具合が発見された。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
8/30	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	大阪国際空港	福島空港	運航整備中に整備委託先において、正規の方法にて部品が取り付けられていない事が判明した。	
8/31	日本航空	ボーイング式737-800型	JA329J	東京国際空港	久米島空港	管制指示高度を逸脱した。	
8/31	日本航空	ボーイング式767-300型	JA607J	マニラ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
8/31	AIRDO	ボーイング式767-300型	JA605A	—	—	運航整備中、脱出スライドの不具合が発見された。	
9/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA343J	東京国際空港	大分空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/1	日本航空	ボーイング式737-800型	JA320J	グアム	グアム	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/1	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA928A	東京国際空港	サンフランシスコ	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	日本航空	ボーイング式767-300型	JA654J	出雲空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/2	日本航空	ボーイング式737-800型	JA321J	東京国際空港	女満別空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/2	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	ホノルル	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA06RJ	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/2	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/3	日本航空	ボーイング式787-8型	JA835J	ホーチミン	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/3	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA139A	秋田空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/3	全日本空輸	エアバス式A320-271N型	JA212A	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/3	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	長崎空港	対馬空港	上昇中、与任系統に不具合が発生したため引き返した。	イレギュラー運航
9/4	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	ジャカルタ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/4	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA07RK	中部国際空港	那覇空港	降下中、点検孔の不具合を示す計器表示があった。	
9/4	スプリング・ジャパン	ボーイング式737-800型	JA01GR	広島空港	成田国際空港	降下中、フラップ展開時の運用限界速度を超過した。	
9/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA833J	ジャカルタ	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/5	日本航空	ボーイング式787-8型	JA849J	大阪国際空港	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/5	日本航空	ボーイング式787-9型	JA862J	ホノルル	東京国際空港	到着後、作業用電子機器が貨物室で発見された。	
9/5	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	福岡空港	成田国際空港	地上走行中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/6	日本航空	エアバス式A350-941型	JA16XJ	—	—	耐空性改善通報により、取付けが認められていない部品が取り付けられていることが判明した。	
9/6	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA73AN	新潟空港	大阪国際空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/6	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA72AN	旭川空港	中部国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/6	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA11FJ	札幌飛行場	札幌飛行場	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/7	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	—	—	点検整備中に整備委託先において、正規の方法にて部品が取り付けられていない事が判明した。	
9/8	日本航空	ボーイング式787-9型	JA882J	—	—	実施した整備作業が航空日誌で確認されていないことが判明した。	
9/8	日本航空	エアバス式A350-941型	JA09XJ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	日本航空	ボーイング式777-200型	JA701J	福岡空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA135A	東京国際空港	岡山空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/8	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA07JJ	中部国際空港	福岡空港	降下中、対地接近警報装置に不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/9	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA794A	成田国際空港	ロサンゼルス	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/10	AIRDO	ボーイング式737-700型	JA16AN	女満別空港	東京国際空港	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/10	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA08RJ	仙台空港	広島空港	乗客からの申告がなかったため、機内に危険物に該当する空間除菌剤が持ち込まれた。	
9/11	日本航空	ボーイング式787-9型	JA867J	香港	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/11	日本航空	ボーイング式767-300型	JA616J	成田国際空港	グアム	着陸時、エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/11	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA857A	大阪国際空港	秋田空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
9/11	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA461A	—	—	定時整備中、第1エンジンナセルに腐食が発見された。	
9/12	日本航空	ボーイング式737-800型	JA344J	釧路空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/13	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA06RK	那覇空港	宮古空港	着陸時、第2エンジンの逆推力装置が正常に作動しなかった。	
9/13	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA17KZ	アンカレッジ	成田国際空港	整備用スマートフォンを機内に置き忘れたまま出発し地上での引き返しとなった。	
9/14	日本航空	エアバス式A350-941型	JA02XJ	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA618A	鹿児島空港	東京国際空港	運航整備中、発動機カウル内の一部の部材が脱落していることを発見した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式777-200型	JA743A	東京国際空港	那覇空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	ジャカルタ	成田国際空港	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	成田国際空港	ジャカルタ	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	クアラルンプール	成田国際空港	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	成田国際空港	クアラルンプール	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	バンクーバー	成田国際空港	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA897A	成田国際空港	バンクーバー	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	エアージャパン	ボーイング式787-9型	JA897A	シンガポール	成田国際空港	乗客の座席の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/14	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA73NU	神戸空港	仙台空港	航法装置の一部の不具合に対して、誤った運用許容基準を適用して運航した。	
9/16	日本航空	ボーイング式787-9型	JA870J	シカゴ	成田国際空港	荷主が必要な申告を行わなかったことから、危険物を通常貨物として輸送したことが判明した。	
9/16	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA839A	シアトル	成田国際空港	飛行中、機内通話装置に不具合が発生した。	
9/16	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	香崎空港	長崎空港	地上滑走中、対地接近警報装置に不具合が発生した。	
9/17	日本航空	ボーイング式787-9型	JA864J	ダラス	成田国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA887A	マニラ	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式777-300型	JA751A	新千歳空港	東京国際空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
9/17	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA811A	宮古空港	東京国際空港	飛行中、空調系統に不具合が発生したことを示す計器表示があったことから、緊急事態を宣言の上、目的地を変更した。	イレギュラー運航
9/17	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA87AN	那覇空港	福岡空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
9/17	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737Y	—	—	乗員からのコメントにより、機体を点検したところ、整備委託先において、正規に組み込まれる部品の一部が欠落して組み込まれていたことが判明した。	
9/18	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA12RK	那覇空港	新石垣空港	進入中、対地接近警報装置の作動により回避操作を行った。	
9/18	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA806	東京国際空港	ジャカルタ	保安検査場にて乗客からの申告がなかったため、機内に危険物が持ち込まれた。	
9/20	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA801A	成田国際空港	香港	対地接近警報装置の地形データに登録されていない空港で運航した。	
9/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA464A	大阪国際空港	青森空港	復路便の保安検査にて危険物が発見されたことから、往路便は無申告で輸送していたことが判明した。	
9/20	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA463A	大阪国際空港	松山空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/21	全日本空輸	ボーイング式787-8型	JA816A	東京国際空港	宮古空港	上昇中、第1エンジンの過熱を示す計器表示があったことから、緊急事態を宣言の上、引き返した。	イレギュラー運航
9/21	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA09RJ	大阪国際空港	仙台空港	飛行中、2系統の表示、警告機能を有する表示装置に不具合が発生した。	
9/21	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA14RJ	仙台空港	仙台空港	定時整備中、与圧系統の不具合が発見された。	
9/22	ANAウイングス	ボンバルディア式DHC-8-402型	JA856A	秋田空港	新千歳空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/22	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/22	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	長崎空港	対馬空港	進入中、対地接近警報装置の誤作動により回避操作を行った。	
9/23	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA134A	小松飛行場	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/23	全日本空輸	ボーイング式767-300型	JA8664	ホノルル	成田国際空港	上昇中、左右の燃料タンクが不均一になったことを示す計器表示があった。	
9/23	ANAウイングス	ボーイング式737-800型	JA59AN	高山空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/23	日本貨物航空	ボーイング式747-8F型	JA12KZ	香港	成田国際空港	運航整備中、エンジンカウル関係の一部のスクリーンに、製造者が認めていない部品が取り付けられていたことが判明した。	

日付	報告会社名	航空機型式	登録記号	出発地	目的地	事象の概要	備考
9/23	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737U	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/24	日本航空	エアバス式A350-941型	JA14XJ	東京国際空港	大阪国際空港	飛行中、管制指示高度の確認が不足したことから、管制指示高度を逸脱した。	
9/24	全日本空輸	ボーイング式767-300F型	JA605F	アモイ(中国)	成田国際空港	運航整備中、第2エンジンカウルの一部の部品が脱落していることを発見した。	
9/25	日本航空	ボーイング式767-300型	JA618J	成田国際空港	バンクーバー	上昇中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/25	日本航空	ボーイング式737-800型	JA323J	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/25	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA884A	バンクーバー	成田国際空港	飛行中、操縦室内に異臭があったため酸素マスクを使用した。	
9/25	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA11FJ	福岡空港	名古屋飛行場	整備中、航空機製造者により誤った部品(座席のシートベルト)が取り付けられていたことが判明した。	
9/26	日本航空	ボーイング式767-300型	JA655J	鹿児島空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	日本航空	エアバス式A350-941型	JA04XJ	新千歳空港	東京国際空港	進入中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/26	スカイマーク	ボーイング式737-800型	JA737T	東京国際空港	神戸空港	飛行中、気象レーダーに不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/26	オリエンタルエアブリッジ	デハビランド・エアクラフト・オブ・カナダ式DHC-8-201型	JA803B	長崎空港	対馬空港	上昇中、与圧系統に不具合が発生したため引き返した。	イレギュラー運航
9/27	日本航空	ボーイング式767-300型	JA607J	—	—	実施した整備作業が確認として航空日誌に記載されていないことが判明した。	
9/27	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA05RJ	仙台空港	仙台空港	試験飛行中、与圧系統(安全弁)の不具合が発見された。	
9/28	日本トランスオーシャン航空	ボーイング式737-800型	JA03RK	—	—	社内調査の結果、耐空性改善通報による点検期限を超過していたことが判明した。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式787-9型	JA879A	シドニー	東京国際空港	乗り継ぎ便の保安検査にて危険物が発見されたことから、前便で無申告で輸送していたことが判明した。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式737-800型	JA63AN	—	—	定時整備中、水平安定板の構造部に腐食が発見された。	
9/28	全日本空輸	ボーイング式777-300ER型	JA790A	成田国際空港	シカゴ	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/28	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA144A	東京国際空港	高知空港	運航整備中、機体の点検口に取り付く固定用のテープが脱落していることを発見した。	
9/28	フジドリームエアラインズ	エンブラエル式ERJ170-200STD型	JA07FJ	—	—	整備中、航空機製造者により誤った部品(座席のシートベルト)が取り付けられていたことが判明した。	
9/29	全日本空輸	エアバス式A321-272N型	JA137A	小松飛行場	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA12RJ	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA11RJ	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/29	アイベックスエアラインズ	ボンバルディア式CL-600-2C10型	JA07RJ	—	—	整備要目に定める点検間隔が超過した。	
9/29	FPGエアサービス	パイパー式PA-34-220T型	JA01YM	与論空港	奄美空港	飛行中、脚の不具合を示す計器表示があった。	イレギュラー運航
9/29	スターフライヤー	エアバス式A320-214型	JA05MC	—	—	不適切な整備処置を実施した。	
9/30	日本航空	ボーイング式787-9型	JA872J	ロサンゼルス	関西国際空港	機長に危険物搭載通知が報告されないうまま運航した。	
9/30	日本航空	ボーイング式777-200型	JA702J	新千歳空港	東京国際空港	降下中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	
9/30	ジェットスター・ジャパン	エアバス式A320-232型	JA01JJ	関西国際空港	成田国際空港	飛行中、航空機衝突防止装置の不具合が発生したことを示す計器表示があった。	
9/30	ソラシドエア	ボーイング式737-800型	JA801X	下地島空港	下地島空港	飛行中、航空機衝突防止装置の回避指示に従って回避操作を行った。	